

令和5年6月1日

陸前高田市防災局防災課

1 はじめに

本市における住民への防災情報の伝達は、防災行政無線を主とし、近年のインターネットやSNSの普及に合わせて、市HP、フェイスブック、ツイッター、LINEを活用している。なお、今年度からは、防災行政無線の放送内容は、市HP、各SNSへシステム自動連携により配信している。

現在、新たな手段として、NTT東日本と連携し、オートコールシステムとAIを活用した新システムの開発を進めている。

2 これまでの課題

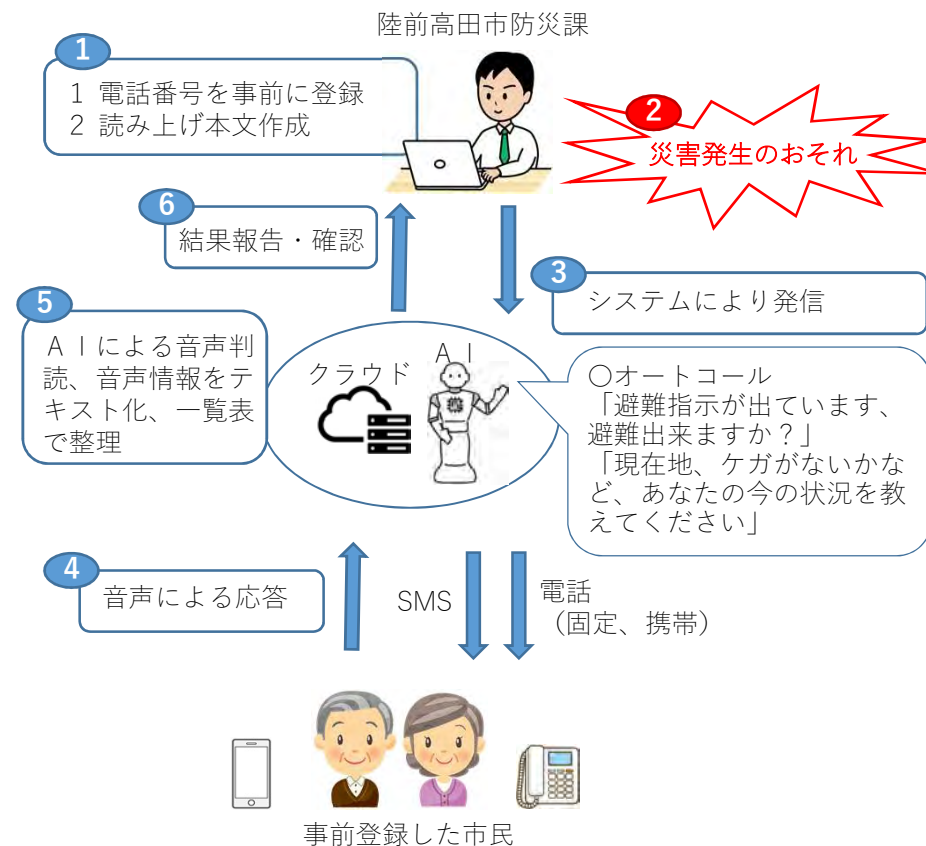
防災情報の伝達については、防災行政無線が聞き取りにくい、戸別受信機の電波状況も良くない、SNS等も使用出来ない高齢者等に対して、防災行政無線、SNS等を補完する新たな伝達方法の検討を行い、情報の到達度をより高める必要性が生じている。また、災害時における住民の安否情報等については、迅速かつ正確な収集及び整理が要求され、マンパワーによる事務が必要とされている。

3 課題解決に向けて

本市では、課題を解決するため、新たなシステムの構築に向けて、NTT東日本と連携して実証実験を重ねてきたところであり、このたび災害時における避難情報の伝達、市民の安否情報等の収集において、新たなシステムを導入する。なお、オートコールシステムとAIを組み合わせたシステムの防災分野における利用は、全国初となる。

○ システム名称
「オートコールシステム及びAIによる
災害時双方向情報伝達システム」

4 システムのイメージ



5 運用について

本システムは、今年度において、NTT東日本にシステム構築業務として委託している。今後は、市職員（各地区避難所開設担当職員、部課等の長など）で試行運用を行うとともに、市民の利用対象者（要配慮者者、避難行動要支援者など）を定めた後、今年度中の本格運用を目指すものである。